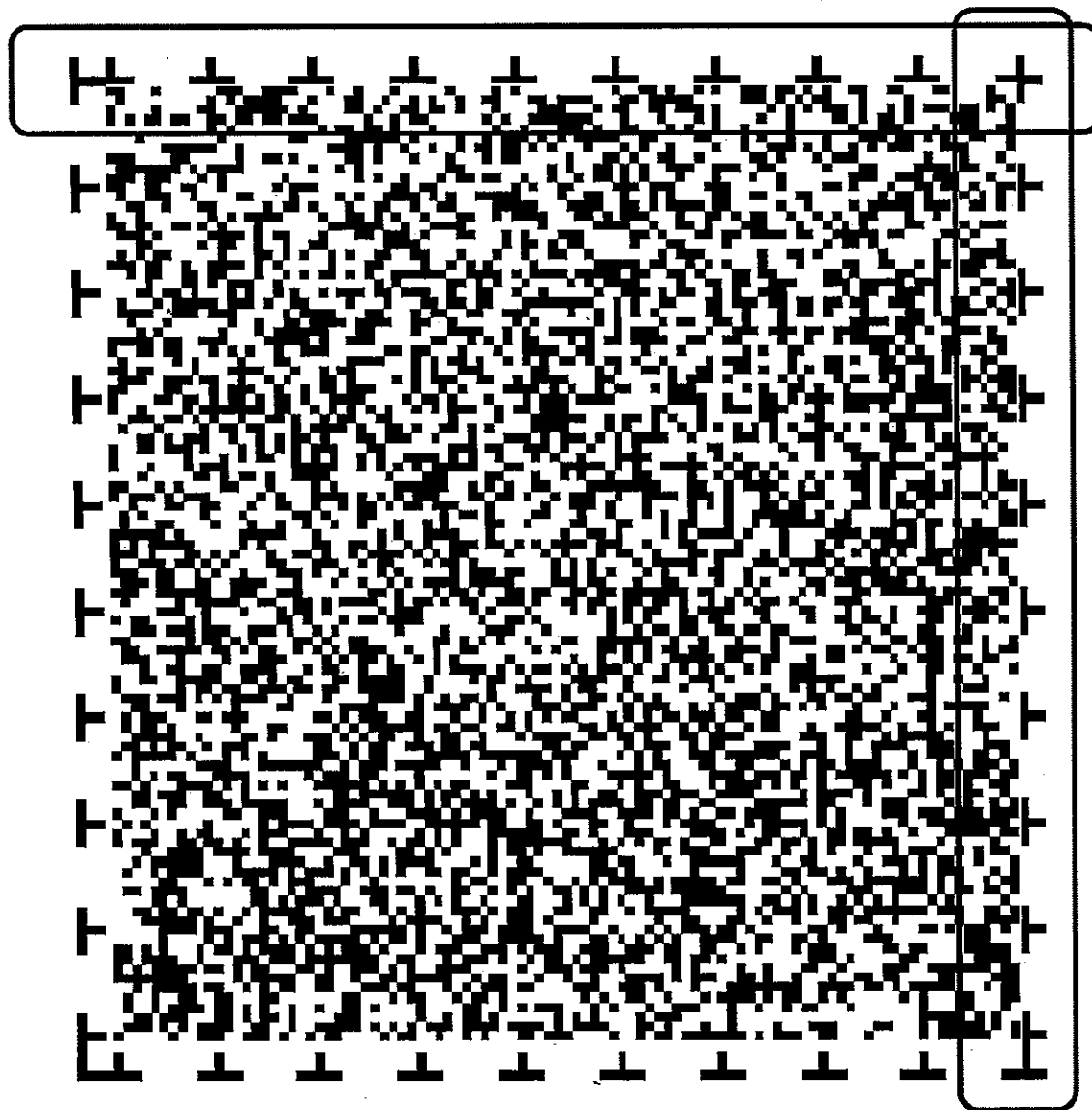


携帯電話対応 音声コード技術仕様

1. 音声コードのデザイン規定

T字ラインとボディーの間隔 1ピクセル以上のスペースが必要(新エンコーダーにより作成)



2. 音声コードのサイズ規定

“L”モード 117セル 19.8mm
“M”モード 106セル 17.9mm
“S”モード 73セル 12.3mm
“XS”モード 40セル 6.8mm

* Mサイズを推奨。

3. 音声コードの誤り訂正規定

誤り訂正	強	25%
	中	15%
	弱	10%

* 汚れ、ゆがみ補正を考慮する場合
強を推奨。(収録データ減注意)

* 旧コードの仕様を強化しています。

携帯電話対応 音声コード技術仕様

4. 音声コードの印刷品質規定

①解像度 600dpiのレーザープリンターを推奨。

セル4ドット 分解能 0.169mm

②印刷濃度値(PCS値)を規定。

(量産印刷機器評価)

・オフセット印刷機 0.9(±0.05)

・レーザープリンター機 0.9(±0.05)

・インクジェットプリンター機

用紙によって、インクの滲みが影響し、PCS値が変動。

上質系の若干塗料加工のある用紙を推奨。

印刷検証ソフトにて、検証により用紙の選定及びPCS値の設定が必要。

誤り訂正值、強を推奨。セル5ピクセル処理可能(720dpi)。

③用紙規定

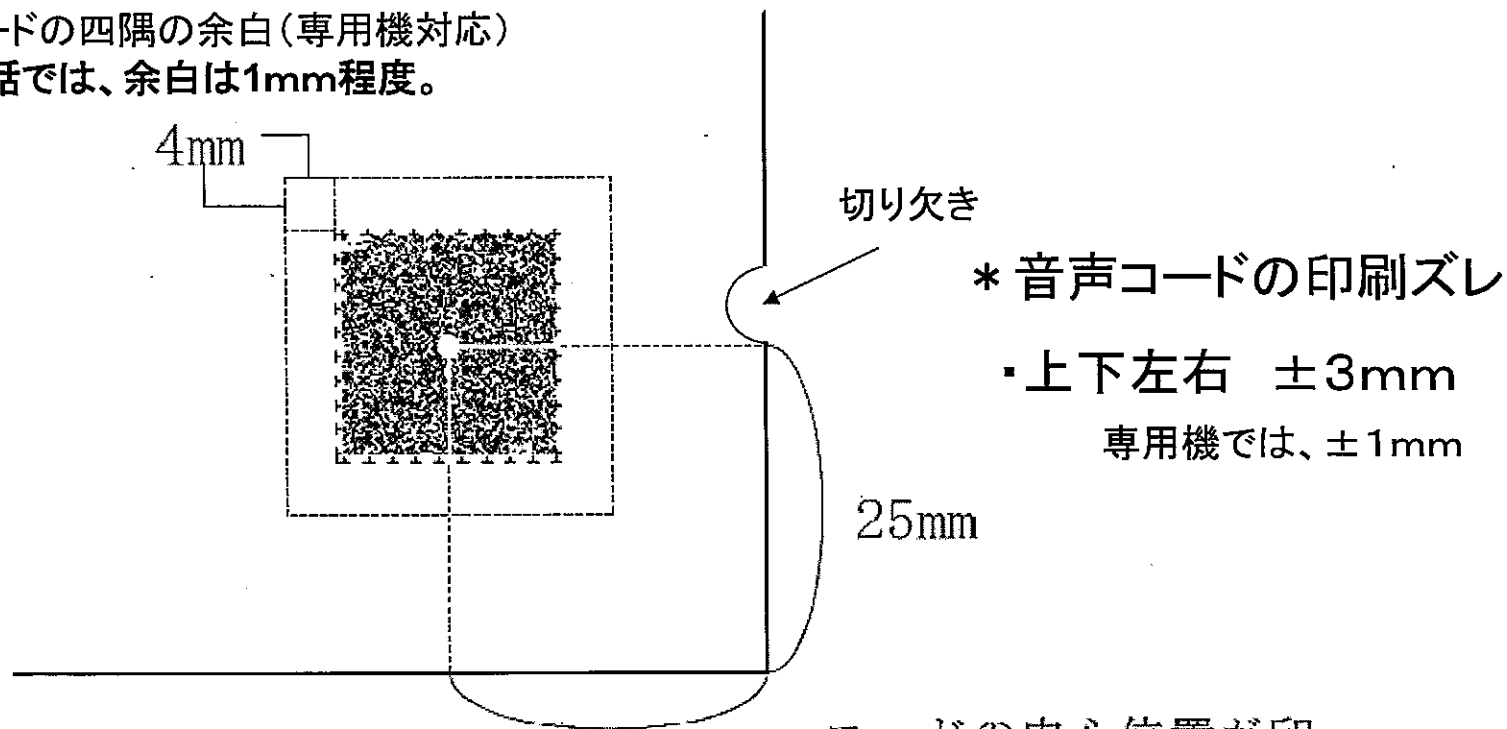
・光沢及び凹凸のある用紙は、避ける。

・上質紙、再生紙(R100 白色度65%以上)、コート紙。

・色上質は、薄系統なら各色対応可。

5. 音声コードの印刷位置

音声コードの四隅の余白(専用機対応)
携帯電話では、余白は1mm程度。

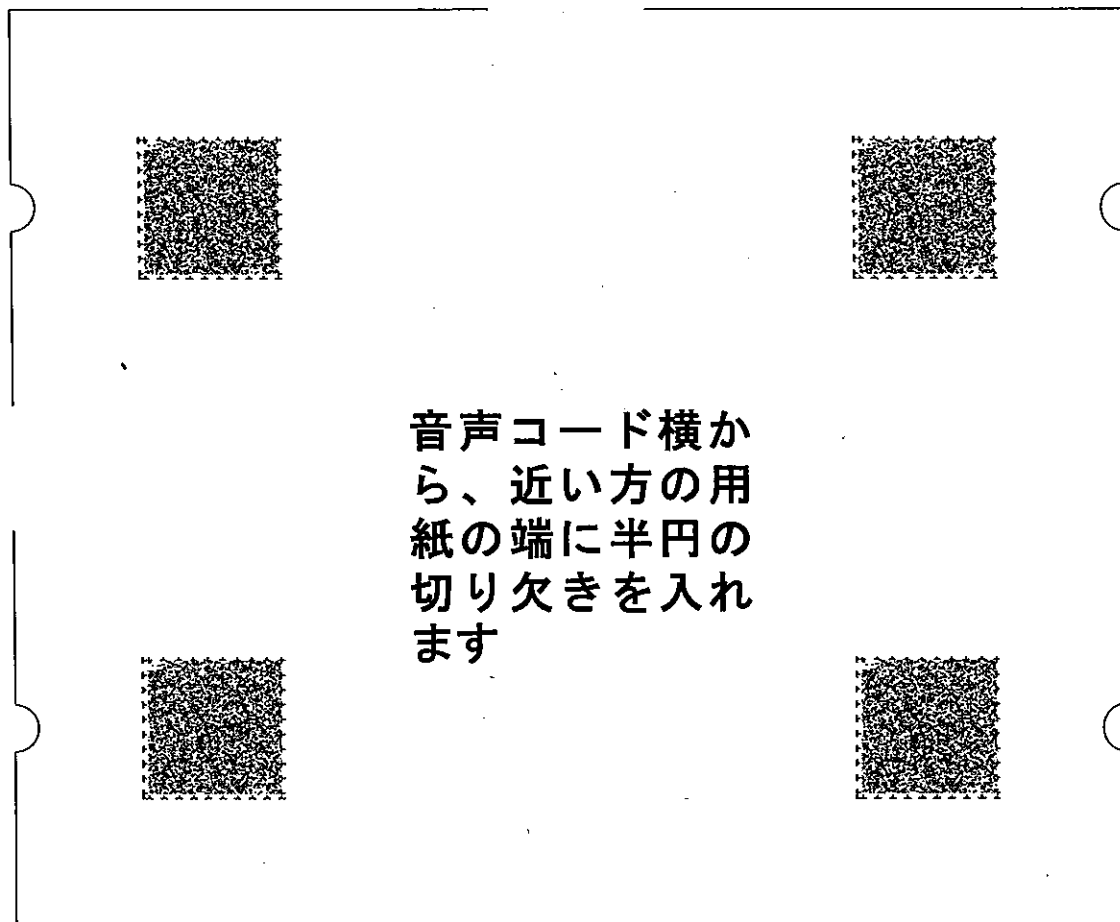


複数頁の冊子で、音声コードを表紙のみに付加する場合、切り欠き加工の効率化のため、全ての頁に加工しても良い。

但し、音声コードの内容にその旨、表記する。

コードの中心位置が印刷物の端から25mmとなるよう配置

6. 音声コードの位置を示すルール



切り欠きは、片面の場合は、一ヶ所。

両面に音声コードがある場合は、上下2箇所入れる。



音声コードに、利用方法の説明ある場合は、切り欠きは1ヶ所でも構いません。

